

Affiliated with the International Association  
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI  
Chartered October 30, 1994



〒 192-0906  
東京都 八王子市北野町 575-22  
並木 真 TEL : 090-4314-3044  
Fax: 042-649-5276  
E-mail : m.namiki1020@heartbeat@gmail.com

2024年6月

The Service Club of The YMCA

第348号

## 東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 ウルリック・ラウリドセン (Denmark) 主題「輝かそう、あなたの光を」 スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
副会長	久保田 貞視	アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越) 主題:「変革のための光となろう」 スローガン「親睦を通して、輝き、力を得よう」
書記	小口 多津子	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題:「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
会計	長谷川あや子	スローガン「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
直前会長	花輪 宗命	あずさ部部长 森本 俊子 (長野) 主題「よい結果をもたらす心の安定と考える力を」 ～面白いと思えることを再発見しよう～
担当主事	菅野 牧夫	八王子クラブ会長 並木 真 主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」
プリテン	山本英次 大久保重子	

### 2024年6月例会プログラム

- 6月第一例会 第89回神田川船の会
- 担当班B班(久保田、花輪、望月、並木(真))
- 日時:2024年6月8日(土)  
集合:13:10 出航:13:30
- 浅草橋 船宿「三浦屋」前の広場
  - ・ JR 総武線 浅草橋駅東口 徒歩2分
  - ・ 都営地下鉄浅草橋駅 徒歩2分
- 6月第一例会は、北野会場での例会としないで東京グリーンクラブの「神田川船の会」に参加
- 会費は3,500円
- ひつじくもの5名参加



神田川船の会

## 巻 頭 言

### 第3回あずさ部箱根山評議会

長谷川あや子

5月11日、「第3回あずさ部箱根山評議会」が東京サンライズクラブのホストによって東京YMCA山手センターで開催されました。今年度最後の評議会ですので大勢の方に出席して頂きたいと思っていました。

当日は5月らしい爽やかなお天気でした。私は9時30分に家を出ましたが、山手センターに着く頃には富士五湖クラブの皆さんも到着。サンライズ、たんぽぽの皆さんも集合して会場準備が始まりました。登録開始の30分前には準備完了。評議会開始の点鐘時、森本部長が「こんなに大勢の方が集まってくれてとても嬉しい」と率直な感想をおっしゃいましたが、私も会場を埋め尽くしたワイズの皆さんを見て、「評議会でこんなに人が集まるのはあずさ部が一番！」と何とも言えない感動を覚えました。

「箱根山」は新宿区戸山二丁目であり23区の中で一番高い山です。戸山公園内にあり憩いの場となっています。

#### 今月の聖句(2024年6月)

すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとへ来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。  
私は柔和で心のへりだつた者だから、私の轡くびきを負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。私の轡は負いやすく、私の荷は軽いからである。

(新約聖書・マタイによる福音書 11:28～30)

以前、評議会のエクスカージョンで何人かで登った思い出があります。

◇議案審議

第一号議案 2024-2025 年度あずさ部部長活動方針承認の件・・・承認

第二号議案 2024-2025 年度あずさ部予算承認の件・・・承認

第三号議案 2024-2025 年度あずさ部次期部長承認の件・・・承認 山口直樹さん(武蔵野多摩)

第四号議案 あずさ部監事任期変更の件・・・

監事の任期を2年から1年にするー継続審議

◇部長、事業主査、クラブ会長の活動報告

時間を充分にとったお蔭で落ち着いてお聞きすることが出来たと思います。並木真会長も八王子クラブの下半期活動を簡潔にして充分に報告して下さいました。

第二部・・・ホワイトハンドオーケストラのベートーヴェン・第9の演奏を映像で見せて頂きました。とても美しかったです。

第三部は懇親会・・・ビールの乾杯はありませんでしたがお茶とお菓子でいつものように和気藹々とあちらこちらで輪が出来、楽しいひとときを過ごしました。サンライズの皆さま、ありがとうございました。2023-2024 年度全ての評議会を終えて私もホッといたしました。

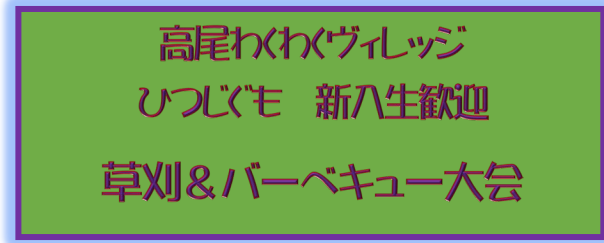
(二次会も大変楽しかったです。)



「第3回あずさ部箱根山評議会」 ↑



**特 集 号**



**\* 開会の言葉**

**会長 並木 真**

皆さん、こんにちは。私が東京八王子ワイスマンズクラブの今年度の会長を務めさせて頂いています。並木真とい



います。よろしく願います。

このバーベキューは、私が入る前から続いている行事ですけれども、コロナで一時期止まりまして、去年からまた始まりました。

ワイスマンズクラブというのはどういふところなの?を説明しますと、プログラムの

後ろに「東京八王子クラブは」、と書いてあります。ワイスマンズクラブは国際的なボランティア団体です。YMCAという団体のサポートをするのを主な活動としているボランティア団体です。非常に国際的に世界各国にある団体ですけれども、東京八王子ワイスマンズクラブは、YMCAというのは日本各所にありますけれども、八王子にはYMCAがないのです。

創設から5年目くらいですかね。ふとしたきっかけで、中央大学ひつじもとつながりができました。ひつじもの皆さんをサポートするクラブとして今まで活動を続けています。例えばIYC(インターナショナルユースコンボケーション)といって世界各国の若い人たちが集まるイベントやAYC(アジアの若者たちが集まるイベント)に皆さんが参加しませんかと呼びかけて、その補助をさせて頂いたりしています。また、八王子クラブや他のクラブもそうだけれども、毎月1回、例会というのがありまして、いろいろな人を呼んでボランティアの話だとか、その業界やその世界の人が来て、お話をしてくれます。非常に勉強になりますので、ぜひ参加してみてください。

今日は新歓なので大学に入学された1年生の方々、入学おめでとうございます。これから新しく学生生活が始まると思います。2年生もいるし、3年生の方もいらっしゃいますが、私も大学卒業してもう20年ですけど、その時の友達、

私はうつのみやYMCAでボランティアリーダーをしましたけれども、その友人とは今も長く続いている関係があります。ぜひこの大学生活の時間を有意義に使って下さい。非常にいい思い出ができるかなと思いますので、ひつじももの活動にも、ぜひ積極的にいろいろな活動に参加してみ、友達の輪を広げてもらえたらいいなと思います。今日、体を動かしてワークがありますけれども、少しハードなワークになるかもしれませんが、草刈りをした後みんなで楽しいバーベキューを楽しみましょう。今日は、よろしく願います。ありがとうございます。

### \* 開会の挨拶

#### ひつじも 委員長 青山真之介

先ほどご紹介に預かりました今年度からひつじもの委員長共同代表として就任いたしました青山信之助と申します。よろしく願います。



まだひつじもには正式に入会していない人もいると思うんですけど、今日はこういう人たちがいるんだよみたいな感じで、活動に参加してくれたら嬉しいです。

でのAYC等の支援だったりとか日々の活動の協力、本当にありがとうございました。今年度も同じようにお世話になると思いますので、引き続きよろしく願います。

バーベキューも草刈りも精一杯頑張っておりますのでよろしく願います。

### 特別寄稿

## 楽しい素敵な時間をありがとう!

#### 麻生 由美子さん

5月18日、快晴の日に高尾わくわくビレッジの八王子ワイズクラブと中央大学ひつじも新入生歓迎、草刈りとバーベキューに参加させていただきました。皆様の日頃の行ないが良すぎるのか?最高温度が29度になるほどの暑さになってしまいましたが、ワクワクです。



自己紹介や施設案内後は各班に分かれて、草刈りと草むしりコースへ出発です。私の班の仲間達は花壇のドクダミ草むしりコースです。我々シニアグループも若いひつじもの仲間達も皆一緒になって花壇に入っていきます。時々水分補給しな

がら、土が全く見えない程のドクダミだらけの花壇で、今まで草むしりの経験もない若い仲間も、ドクダミの事を知らない仲間も、アイリスの球根をドクダミと一緒に抜いてしまっそうになった仲間も、皆で力を合わせて草むしりをやり遂げました。花壇は土が見えるようになり、とても美しくなりました。

そして次はバーベキューの広場へ移動です。まずは説明後5班に分かれて、カマド作り、火起こしですが、カマド等作った事もない仲間もマッチをすった事もない仲間がいても、皆で知恵を出し合い協力して、どの班も無事に美味しいバーベキュー、焼きそばまで堪能する事が出来ました。自然の中で草刈り、草むしりという作業の後のバーベキューは最高に美味しかったです。

皆で力を合わせて協力しながらの作業は、その都度沢山の会話もあり、笑顔もあり、素敵な楽しい時間を共有する事が出来ました。そして若いひつじもの皆様のパワーに触れ、遠い遠い昔の懐かしい学生時代を思い出したり、シニア組もパワーアップさせていただきました(笑)

八王子ワイズメンズクラブの皆様の様々な沢山の活動、そして一緒に楽しい時を共有されているひつじもの皆様との大きな1つの輪をと



でも暖かく感じ、ホットな気分を経験させていただきました

た。  
楽しい素敵な時間をありがとうございました。  
そしてまた誘って下さいね

#### 『プロフィール:麻生由美子さん』

高校時代から中央YMCAメンバー、リーダーを経験  
武蔵野多摩ワイズメンズクラブ休会中です  
学生時代から福祉系で、現在はパートで、介護支援専門員等で介護保険の認定調査、初任者研修講師、ボランティアでカウンセリング等担当しています。

## 新歓草刈りノバーベキュー大会に参加

### ひつじも OB 宮内蒼也

「新歓」と名がつくものに自分が再び参加する日が来ようとは、考えてもいませんでした。ひつじもへの入部を検討中の新生が参加する、ひつじもにとって大切なイベントである草刈り BBQ に参加をさせていただきました。会場に向かうバスの中で、ひつじもの学生たちと乗り合わせた私は、生来の人見知りによりバスの前の席

にひっそりと座って彼らの楽しそうな話し声を聞くともなしに聞きながらバスに揺られていました。

しかし到着してしまえば、元気な後輩たちと、ひつじもの後輩たちよりも元気な

八王子クラブの皆さんに影響され、私も楽しく過ごしていました。草刈りの時間には個人作業になる場面もありましたが、BBQ が始まると、チームの中では火起こし、巻き割り、材料の準備や調理などいつものタスクを協力してこなしていくため自然と会話が増え、冗談を言ったり、互いの働きを労ったりと、学年や年齢に関係なくどのチームも盛り上がっているようでした。私のいた班では、はじめ火起こしに苦戦しましたが、一度火が付くとみなで一齐に調理を開始し、気づけばほかのどのテーブルよりも早く食べ終わり、片付けもてきぱきと終わっていました。暑い日差しの中で草刈りと BBQ を終え、疲労感と名残惜しさを残して、会はお開きとなりそれぞれに帰路につきました。

今回の草刈り BBQ に参加する中で、かつての思い出を本当に懐かしく思い出しました。ひつじも/学生 YMCA での活動で私が得たものは多くありますが、最も大きいのはやはり「出会い」であると確信しています。ともにひつじもの活動に参加し、絆を深めた同期の仲間たち、大きな刺激と影響を与えてくれた先輩や後輩、活動を通して出会う未知の世界で活躍される方々、そしてそれらの活動を支援して下さるだけでなく INC や AYC に始まる活動の場を提供して下さる八王子クラブの皆様、本当に素晴らしい出会いに恵まれていました。ひつじも/学生 YMCA での活動にこのめりこみ、北海道から九州の各地の学 Y を訪れた私は多くの話を現地で聞きましたが、ひつじもほど、一つのワイズメンズクラブと OB 会と

現役の学生たちが強く結びついているところはありませんでした。学生 YMCA の中で、日本で最も恵まれた環境にあるといっても過言ではないひつじもというサークルで、これからも多くの後輩たちが活躍し、卒業した後は草刈り BBQ の日の私のように、幸せな気持ちで思い出を振り返るようになることを願っています

## 本日のゲストのみなさん



↑大輪匡史さん



綿引康司さん↑

本川悦子さん 麻生由美子さん 小原史奈子さん





福田勝江さん ↑



麻生由美子さん ↑



## わくわくビレッジ便り

館長:菅野牧夫

梅雨入りが近づいて来たのか、はっきりしない天気が増えてきたように感じます。先日原っぱの手すり（京王電鉄らしく電車の枕木を使用）の割れ目にシジュウカラが卵を産みました。もう巣立ってしまいましたが、親鳥が雛鳥にせせとエサを運んでいました。きれいに撮れたのでどうぞご覧ください。

第3期の高尾の森わくわくビレッジ運営に関する実施方針、業務要求水準書が東京都からやっと発表されました。これで2025年度からの10年間もわくわくビレッジが存続することが決定しました。これから各企業の書類による入札と提案によって選考されます。あとは他の企業に負けない提案をして、落札にもっていけることを願っています。

今回の業務要求で大きく変わったことが、いろいろなところに出てくる「多様な体験活動や子ども、若者を支えるネットワークの場」という言葉です。またユーススクエア（1階ロビー）の呼び名はサード・プレイスという名称に変更されています。サード・プレイスとは自宅、学校とは別の居心地の良い場所を意味しています。昨年東京都生涯学習課の方がいらして話していたことですが、コロナの流行以降不登校の学生や児童が爆発的に増えているということでした。東京都も、このことを重大事項ととらえているようです。今期のユーススクエア業務の中でも団体の交流の場という働きがありました。次期の業務の中でサード・プレイスと命名して、子どもや若者たちが安全に、自由に立ち寄り、交流、相互承認できる場を作っていくと意味が強められています。

提示された業務要求の意味をくみ取って、東京都の心に刺さる、わくわくビレッジらしい提案を考えたいと思います。これからは正念場です・・・

シジュウカラ ↓



## 東京YMCA 近況報告

担当主事 菅野牧夫

1. 4月27日、東日本地区YMCA役員研修会がオンラインで開催され、東日本地区各YMCAの役員、運営委員、管理職職員などが参加した。「宗教とウェルビーイング」をテーマに、櫻井義秀氏（北海道大学教授）から講演をいただき、分団に分かれて意見交換を行った。
2. 4月29日、「第24回高石ともや Bangladesh シュ奨学基金チャリティーコンサート」が5年ぶりに日本基督教団浅草教会で開催され、115名が来場し好評であった。演奏の合間には松本数実氏（国際・総合教育事業部統括）が、東京YMCAが支援している Bangladesh の子どもたちの様子について映像を用いて報告を行った。益金15万円は、Bangladesh YMCAの学校で学ぶ子どもたちの支援に用いられる。
3. 「山中湖センター100周年募金」は4月末で終了し、当初の目標額を大きく上回る30,339,896円が寄せられた。募金により、クライミングウォールなどのプログラム施設の新設、キャビン内のトイレ設置を含む施設リノベーションが順調に進んでいる。7月6日～7日には、山中湖センターで施設のお披露目を予定している。募金を用いて8月23日～25日に、外国にルーツを持つ小中学生のサマーキャンプを行う。
4. 5月25日、「第21回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに80名が集い、約10人がオンライン配信を視聴した。開会礼拝に続き、綿引康司会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2024年度の会員部運営委員が推挙された。「下町こどもダイニング」のボランティアの皆さんに「Volunteer of the year」の感謝状が贈られた。4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」の表彰を受けた。第三部では、中里敦氏より、東京YMCAが行った輪島市町野町の避難所運営支援について報告があった。第四部では、山中湖センター100周年の感謝報告に続き、レクリエーションやキャンプソングを楽しんだ。会場では、能登半島地震被災者支援のための物産販売とオークションも行った。

## 今日の聖句に寄せて（2024年5月）

今年4月28日、星野富弘さんが呼吸不全のため永眠されました。50年以上をベッド上で過ごした78年の生涯でした。

中学校の体育教師として放課後の体育館で体操の指導中、頸椎損傷の重傷を負い、以来、首からはまったく自分の意志で動かすことができなくなり、ベッド上での生活となりました。絶望的な闘病生活が続く中で、わずかに動かすことのできる口に絵筆をくわえて、私などには信じられないような努力の末、文字をかくこと、絵を描くことができるようになりました。その後、花に詩を添えた、美しい作品は「星野富弘 花の詩画」として、国内のみならず海外にまで、多くの人に希望と感動を与えることとなったのは周知のとおりです。星野さんを支えたのが、詩と画、そしてキリスト教の信仰でした。

星野さんは、1974年12月22日、病院の病室でキリスト教の洗礼を受けましたが、星野さんをキリスト教へと導いた言葉が、今日の聖句です。

「私は自分がどこに向かっていくのか、なにに向かっていけばよいかわからなかった。その不安が、大きくなり、おしつぶされそうになりながら、私は心のよりどころを求めていた。そんな私の耳もとを時々、風のようにささやいていく言葉があった。」

『労するもの、重荷を負う者、我にきたれ。』

「それは、郷里の家の裏の墓地に立っていた白い十字架に書かれていた言葉だった。」

この言葉を聖書の中に見つけた時、私にこの言葉を与えてくれていた神様の心を知ったような気がした、と、星野さんは著書、「愛、深き淵より」に書いています。

このコラムに以前にも書きましたが、1983年、宇都宮で開催する「星野富弘 花の詩画展」の打ち合わせで、群馬県勢多郡東村（現みどり市）の自宅に、星野さんを訪ねたことがありました。奥様と共に応対してくれましたが、私たちの緊張をみすかすように、「俺はごく普通の人間ですよ」といたずらっぽく話してくれた笑顔を思い出します。

並木信一



## ひつじくも便り

### アフターコロナと児童館活動

ひつじくも 文学部3年 西成 望

新型コロナが5類になり、マスクの着用が個人の判断になってからおよそ一年が過ぎた。これまで代々受け継がれてきたひつじくものメイン活動の一つである児童館活動は新たなフェーズを迎えた。

5月19日に「みさわこどもまつり」が日野市のみさわ児童館にて開催された。これは児童館で開催される最も大きなイベントで、工作、ストラックアウトをはじめとする様々なブースが出て、毎年のように子供たちを楽しませてきた。そして、コロナ禍が終わった今年は例年とは異なり、人数制限を解除し、ブースの数も昨年の倍近くに増やすことになった。ひつじくももブースを出さないかという依頼を受け、快諾した。そして、何をすべきか、何を準備すべきかを参加者で話し合った。

最終的に私たちは「ジェスチャーゲーム」を出し物として選んだ。子供達に6つのジャンルの中からカードを引いてもらい、大学生が即興でジェスチャーをするというものだ。当日は、例年以上の規模の大きさで、ボランティアの数も昨年度から約2倍に増え、参加者も500人を超えた。一階ホールは活気にあふれ、私たちのブースにも多くの子供たちがやってきて、ジェスチャーゲームを楽しんでもらうことができた。

今回ブースを出したのはコロナ禍以後で初めてである。活動を通じて、制限がなくなったことで子供たちのかかわり方がぐっと増えたことを身にしみて感じた。そして相手の目線に合わせること、自分の表情を見せることを意識するようになった。これは、マスクが義務化されていた時では考えられなかったことである。自分の表情を前面に押し出すことで感情が伝わりやすくなり、より子供たちにとって愛着を持てるような交流ができたと思う。

今後もひつじくもは、大学生が主体となって子供たちと向き合いながら、アフターコロナの新たな児童館活動を切り開いていきたいと考えている。最近では新たな試みとして、大学生が主体となった大人数でのレクリエーションなどを始めている。今後の児童館活動に是非注目していただけると嬉しい。

## 第21回東京YMCA 会員大会のごと

小口多津子

5月25日(土)の1:30から、山手コミュニティセンター101で今年の会員大会が開催されました。会場出席者は、91名、他にオンライン参加者でした。この大会の主な内容は、菅谷 淳東京YMCA 総主事による、この2023年度の東京YMCA 報告でした。やはり大きな活動一つは、能登半島地震被災者支援の東京YMCAの働きが大きなことではなかったでしょうか。震災直後からの約69日間、延べスタッフ31名がシレー形式で4日～1週間を交替で繋げてきた働き。組織力のちからの結果でした。

エピソードとして現地責任者として最初に派遣された中里 敦さんの談話。1月5日、山中湖センターで夕方、湖を眺めていたら、いきなり携帯が鳴った、星野さんから「明日一番で金沢へ飛んでくれ！」ということだった。YMCAらしい視察から出勤までの動きの速さが目に浮かびました。

プログラムの2部は、会員への表彰。今年の名誉会員となられたのは、磯部成文さんでした。今年82才、元東京北ワイズメンズクラブのメンバー、全国YMCAリーダー会事務局長のお働き、国際奉仕センター運営、東陽町ウエルネスセンター運営、常議委員など、東京YMCAの運営に携われてこられたことへの表彰でした。

会員部運営委員の再任10名と新たに任命された5名の方の紹介。そして、YMCAを一番支えている、ユース・ボランティアリーダーさん達への1年間の働きへの表彰。そして今年の新しいリーダー達への委嘱状授与。各センターで授業や会社勤めの合間に、子供達への関わりのために、奉仕する学生リーダーへ委嘱状です。彼らは普段、自分のことで精いっぱいです。その思いを押しつけて足を各センターへと向きを変えて行って、子供達に寄り添う姿には、本当に頭が下がる思いです。

ある学生が壇上で一言の感想を述べていました。「私にはこれといった目標がなかった、でもリーダーになって初めて、自分ではない、ひとのことを悩み、一緒に考えるという力をもらった、貴重な体験をさせて頂いた」。

東京YMCAは、2030年に創立150周年をむかえます、それにあたって2030年をゴールとした計画がたてられ、最初の3カ年2025～2027年にむけての目標として、リーダーシップ人材の獲得と育成、東陽町会館移転への計画や財政の安定、グループ力の強化、ファンドレイブメント、会員制度の見直し、と種々の計画が立てられていました。午後4時に閉会。

最後に能登半島で奉仕されたスタッフが、引き上げる際に現地の漆器店を運営されていた方から、家の中に残っていたという、名産品の輪島塗の漆器やお盆などを沢山いただきました、それがオークションにかまがられて販売されました。その代金がまた能登へと還元されることに。

**5月第一例会報告** 書記・小口

(中央大学ひつじぐも新入生歓迎会・草刈／BBQ)

日時:2024年5月18日(土)10:00～14:30

場所:高尾の森わくわくビレッジ・広場、教室

出席者:草刈・BBQ参加者

ビジター・・本川悦子(東京西)、小原史奈子(東京たんぽぽ)、綿引康司(東京多摩スマイル)、  
ゲスト・・宮内蒼也(ひつじぐもOB)、福田勝江、大輪正史、麻生由美子

ひつじぐも(3年生3名/2年生13名/1年生7名)26名。

八王子クラブ(菅野、佐藤、長谷川、稲葉、花輪、久保田、並木真、山本、大久保。以上総勢39名

10時集合、オリエンテーション(会長・ひつじぐも委員長挨拶、プログラム説明、参加者紹介、)

草刈作業(花壇のドクダミ取り班と駐車場わきの立ち木の伐採班の二つに分かれた)

BBQ開始(グループ別にカマド作り、調理、昼食)と懇親会。

BBQ片付け後に閉会、解散。

**八王子クラブは続けて、第二例会(事務会)**

主な話し合いは、6月例会(6月8日)の確認、7月キックオフ例会の卓話者の件、10月八王子クラブ30周年のこと等。直前会長感謝会のこと(日程、会場)

**高尾わくわくビレッジ  
バーベキュー大会の主役のみなさん**



**今月お誕生の方**

**該当者なし**

**先月の例会ポイント (5月)**

在籍	12名	切手	0g 計45g
メン	9名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	75%	スマイル	0円
メネット	0名	累計	117,760円
ゲスト	4名	オークション	0円
ビジター	3名	累計	0円
ひつじぐも	26名		

